

# 報告事項1「基本理念の実現に向けた 具体的な取組の考え方」

## ③サステナブル・ファッションの浸透

令和5(2023)年9月

伊丹市 市民自治部 まちづくり室  
減量推進課

# 1. サステナブルファッションとは

## サステナブルファッション

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのこと。

ファッション産業は、製造にかかるエネルギー使用量やライフサイクルの短さなどから環境負荷が非常に大きい産業と指摘されており、国際的な課題となっています。そして、衣服の生産から着用、廃棄に至るまで環境負荷を配慮したサステナブル（持続可能）なファッションへの取り組みは、急速に広がっています。環境省は2020年12月～2021年3月に、日本で消費される衣服と環境負荷に関する調査を実施しました。

### 兵庫県資源循環推進計画の概要(案)

- 暮らしに根ざした資源循環の重点取組
- 取組① プラスチック資源循環の促進
- 取組② 食品ロス削減対策の推進(兵庫県食品ロス削減推進計画)
- 取組③ **サステナブルファッションの展開**

## 2. 服(一着)生産に係る環境負荷

服一着※<sup>1</sup>の製造プロセスにおいて、CO<sub>2</sub>排出量は約25.5kgとなりペットボトル(500ml)を約255本製造する量に匹敵します。また、原料となる植物の栽培や染色などで、約2,300ℓの水が消費されており、大量の衣服が生産されている現代では、その環境負荷が大きくなっています。

※<sup>1</sup>… (2019年時点における服の国内供給量約35.3億着をもとに算出)

国内における衣服供給量は増加する一方で、衣服一枚あたりの価格は年々安くなり、市場規模は低下しており、傾向として大量生産・大量消費が拡大しているとも言え、衣服のライフサイクルの短期化による大量廃棄への流れが懸念されます。



服一着をつくるためにも環境に対して様々な負荷がかかります

出典:環境省HP

### 3. 求められる取組

何がサステナブルなファッションなのか、  
どう対応すればよいのか分かりやすく情報発信する

39.7%

服を処分するときに、回収しやすくする

39.2%

服のリペアやリユースをもっと利用しやすくする

27.9%

ファッションに関係する企業が、生産工程で環境問題に  
どう配慮しているかの情報が分かるようにする

26.0%

安く買い、流行のシーズンが終わったら  
処分するサイクルを見直す

24.2%

商品の環境負荷や環境配慮に関する情報が  
購入時にわかるようにする

21.6%



「サステナブルファッションとは何か？どう動けばよいのか？」を整理し、情報発信することや服を処分する際に回収しやすくするなどが挙げられ、企業にも生活者にも、具体的なアクションが求められています。

## 4. 事業者の取組 (UNIQLO)



回収する

お客様のご不要になったユニクロ・ジュー・プラスの服を各店舗に設置されたRE.UNIQLO回収ボックスで回収。



仕分ける

リユースでそのまま活用するものと、リサイクルで新たに生まれ変わらせるものにと仕分けます。



リユースの場合

ニーズに応える

季節、男女、サイズ、大人、子ども、気候、文化、宗教など。お届け先のニーズにきめ細かく対応できるよう18種類に分類します。

リサイクルの場合



加工・再生する

独自の技術で商品に使えるダウン・フェザーに再生。他のものは、CO2削減に貢献する代替燃料などに加工されます。

### RE.UNIQLO

ユニクロ店舗で回収した服をリユースし、国連難民高等弁務官事務所や世界中のNGO・NPOとともに、難民キャンプや被災地への緊急災害支援など、世界中の服を必要としている人たちに届けています。

リユースできない服は燃料や防音材として加工。

新たな取り組みとして、ダウン製品を皮切りに「服から服へのリサイクル」を推し進めています。



世界中で役立つ

世界各地の難民・避難民へ、ニーズに合わせて必要な服を届けます。リサイクルされた燃料や防音材は工場へ。ダウン・フェザーは、最新アイテムとして生まれ変わります。

出典:「UNIQLO」HP

## 5. 伊丹市の取組

### 古着類回収(行政回収)

開始年度	平成12年度	平成24年度	平成28年度
古着類回収内容	行政回収開始(1回/月)	頻度変更 (2回/月)	頻度変更 (1回/週)
回収量(t/年度)	23.79	348.94	350.55
	平成13	平成25	平成28

### 再生資源集団回収奨励金制度(集団回収)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
登録団体数	318	318	314	298	292
全体回収量(t)	4,906	4,971	4,405	4,330	4,073
うち古着回収量(t)	324	360	298	340	312
交付額(千円)	19,623	19,164	17,622	17,319	16,292

### グリーン購入法関連

伊丹市役所・伊丹市環境クリーンセンターでは、再生資源を利用して作られた作業服を着用しています。

## 6. 今後の取組

- 既存リサイクルルートへの推奨
- リサイクラーとの連携・広報・周知
- 環境負荷・環境配慮の情報発信
- 服の買い替えについての啓発

伊丹市として効果的かつ経済的な手法を調査・研究し、持続可能な取り組みを実践していきます。